



About us 私たちについて

ウーイング・ツリーはオーナーである Stephen Farquharson (スティーブン・ファルカソン) 氏が妻のテア、妹のジェーン、その夫のジェフ・バウ氏と一緒に 2002 年にクロムウェルの町の側に設立した新しいワイナリーです。当時 4 人はヨーロッパにいましたが、このワイナリービジネスのために皆ニュージーランドに戻って来ました。

スティーブ氏はワイナリーを設立する前にイギリスのプランプトン大学にてブドウ栽培学、ワイン醸造学、ワイン貿易、ワインの WSET 学位課程を学び、取得いたしました。ジェーンもまたブドウ栽培学をプランプトン大学で学びました。



ウーイングツリーは家族所有のヴィンヤードです。私たちのヴィンヤード (ブドウ畑) はブドウ栽培に最適なセントラルオタゴのクロムウェルという町にあります。私たちのヴィンヤードは果樹栽培で有名なクロムウェルの中心部にある町のシンボル「ビック・フルーツ スカルプチャー」 (大きな果物のオブジェ) の向かい側にあります。





セントラルオタゴ、クロムウェルの気候

クロムウェルは山頂が雪に覆われた山々、カワラウ川、クルサ川が合流する深い谷、ダンスタン湖に囲まれた町です。

ほとんどのNZのワイン産地は海洋性気候ですが、セントラルオタゴは内陸部にあり、フランスのブルゴーニュと同じ内陸性気候です。

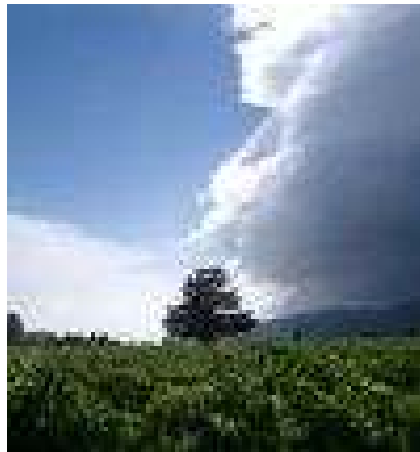
この気候が、四季を通しNZ国内で最も大きな寒暖の差をつくります。

また、一日の気温差も最も大きく、夏は日中に30℃を越えても、夜には0℃近くまで下がることもあります。

秋にブドウは時間をかけて熟していきます。そのためブドウは酸を保ち、凝縮したフレーバー、カラー、複雑な風味を持つしっかりとしたワインを生み出します。

また、セントラルオタゴは年間降雨量が325mmから600mmと非常に少なく、この低い降雨量は低い湿度をもたらし、菌や腐敗の問題を最小限に抑えられます。

このようなセントラルオタゴの気候、地理的条件がワインのブドウ栽培環境にとってもいい影響を与え、現在セントラルオタゴは世界屈指の品質のピノ・ノワールの産地といわれています。



The Wooing Tree A bit of History

ウーイングツリーって何？

2001年、私たちはNZ屈指のブドウ栽培家ロビン・ダイシーにワインに適した土地探し、畑の開墾を依頼しました。

私たちは最初にセントラル・オタゴにて日当たりのよい北斜面の畑を探しましたが、最終的に、土が小石の上を覆っていて水はけがよく、葡萄栽培にとっても適した

平地の土地を選びました。

その時私たちはその土地に、その木の下で現地の若者が恋人にプロポーズをするところから Wooing (求愛、告白する) Tree と呼ばれる地元ではとても有名な木があることを知りませんでした。

そんなことは知らずにロビンにヴィンヤードの開墾をお願いしようとしていると、地元の人たちがこの木を残したい、と署名運動やこの木にまつわる物語、歴史などを集めるキャンペーンをはじめ、この話は新聞などのマスコミなどにも取り上げられました。

もちろん私たちは畑の中央にあるこの木を残し、ワイナリーの名を地元の人たちから愛されているこの木からいただき、ワインラベルもこの木をデザインしたものにしました。

このワイナリーでは結婚式を行うことも出来、『求愛の木』のもとにあるロマンチックなワイナリーは現在も Wooing Tree の木とともに現地の人々に愛されています。



Our Vinyard 私たちのブドウ畑

26ヘクタールのシングルヴィンヤードにはピノ・ノワールのクローン5、6、115、667、777が植えられています。栽培されている葡萄は主にピノ・ノワールで、このピノ・ノワールからは赤ワインだけでなくロゼや世界でも珍しいスティルワイン（スパークリングワインではないワイン）のブラン・ド・ノワールやロゼのデザートワインなども造られています。



受賞暦

そんな私たちのワインは喜ばしいことにNZ国内や国際ワインコンクール、ワイン雑誌などでたくさんの賞を受賞し、NZ首相と韓国大統領の会食のワインにも選ばれるなど、国際的に高い評価を受けています。

トロフィー受賞

- ・香港ワイン&スピリッツ国際コンクール ベスト ピノ・ノワール賞 (2009)
- ・香港ワイン&スピリッツ国際コンクール ベストニューワールド ピノ・ノワール賞 (2009)
- ・ニュージーランドイノベーション ワインメイキング賞 ブロンディ (2008)
- ・ニュージーランド航空ワインアワード 赤ワインオープン部門受賞 ピノ・ノワール (2008)
- ・ロイヤルイースターショー ワインアワード受賞 ロゼ (2007)
- ・ロイヤルイースターショー ワインアワード受賞 ブロンディ (2010)

ゴールドメダル受賞

- ・ロイヤルイースターショー ロゼ (2007)
- ・ロイヤルイースターショー ブロンディ&ビートルジュース (2010)
- ・ロンドンワイン&スピリッツ国際コンクール ピノ・ノワール (2009)
- ・ロンドンインターナショナルワインチャレンジ ピノ・ノワール (2009)
- ・ロイヤルイースターショー ピノ・ノワール (2009)
- ・香港インターナショナルワインチャレンジ ピノ・ノワール (2009)
- ・香港ワイン&スピリッツ国際コンクール ベストピノ・ノワール賞 ピノ・ノワール

(2009)

- ・ ニュージーランド航空ワインアワード ピノ・ノワール (2006,09)
- ・ サンフランシスコ国際ワインコンクール ピノ・ノワール (2009,10)
- ・ ニュージーランド国際ワインショー ピノ・ノワール (2006,09,10)
- ・ 韓国ワインチャレンジ ピノ・ノワール (2010)
- ・ リカーランド (NZ) トップ100 ピノ・ノワール (2009)



雑誌掲載暦

- ・ 雑誌Cuisine 過去4年間に3度トップ10ピノ・ノワールにランクイン
- ・ 雑誌ワインテイストマガジン掲載 (2006-09)
- ・ マイケル・クーパーのワインバイヤーガイド掲載 (2007-10)
- ・ ワインテイストマガジン 2009年版掲載
- ・ ワインテイストマガジン11月号
セントラルオタゴ/カンタベリー ベストピノ・ノワール
- ・ サム・キムのワインオービット3月号掲載 (2010)
- ・ 雑誌グルメトラベラーワインマガジン ボブ・キャンベル氏より 96/100得点



その他

- ・ キャセイパシフィック航空ヨーロッパ線にて、NZのピノノワールワインとしては初めてファーストクラスに採用される。
- ・ ロバート・パーカー氏監修ワインアドボケイト誌 パーカーポイント92点。
「傑出していて、官能的なフィニッシュ。すばらしいピノノワール。」
- ・ ロバート・ジョセフ氏 Telegraph誌より「非常に本格的なワイン」
- ・ トム・スティーブソン氏 ワインレポート2008
ニューリリースワインベスト10より 「最も心躍る発見」

- ・ ジャンシス・ロビンソン氏 The Worlds Atlas of Wineより 「注目すべき生産者」
- ・ Wine Enthusiast USA誌 2007年6月号にて 92/100得点（編集者の採点による）
- ・ マシュー・ジュークス氏 Daily Mail誌 2007年9月号 「センセーショナルなピノ」
- ・ ティム・アトキン氏（マスターオブワイン）により
NZ内ワールドクラスのピノノワール トップ25に選ばれる。
- ・ Sydney Top 100より 「大いに推薦する」
- ・ ジェフ・ケリー氏 ピノ2010より NZ No. 4のピノノワール。
- ・ NZ-韓国の首相会議の際の会食用のワインに選ばれる。2010年7月

※この受賞暦はこの日本語案内作成時（2011年3月末）までのものです。

Wooring Treeの最新の受賞暦、お知らせは

<http://www.wooringtree.co.nz/news.html>

をご覧ください（英語）

翻訳作成：BREE 仁美（ワインショップおたご屋 <http://otago.com>）



Wooring Tree Vineyard :: 7 Westmoreland Place, Cromwell, 9310

info@wooringtree.co.nz :: Tel +64 3 445 4142